

東京都市計画道路放射第9号線

(豊島区巢鴨三丁目～同区巢鴨五丁目)

令和3年9月9日(木)
建設局道路建設部

目次

1. 事業概要	1
2. 社会経済情勢等の変化	5
3. 事業の投資効果	6
4. 事業の進捗状況と見込み等	10
5. コスト縮減等	12
6. 対応方針(原案)	13

1. 事業概要(1)

[全体概要]

路線名：放射第9号線

区 間：千代田区大手町一丁目
～板橋区舟渡三丁目

延 長：約14.9km

[今回評価区間]

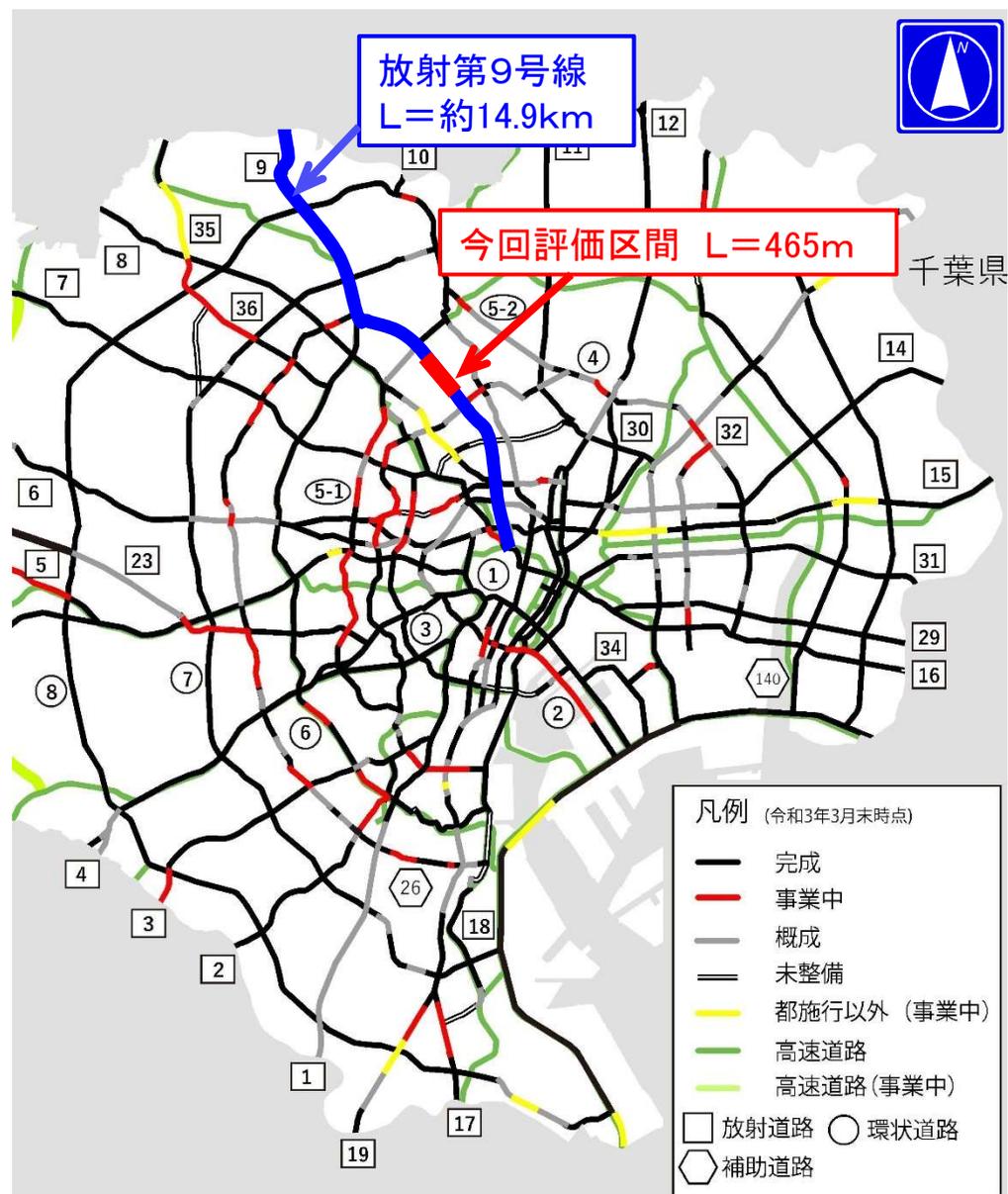
区 間：豊島区巢鴨三丁目
～豊島区巢鴨五丁目

延 長：465m

幅 員：40m

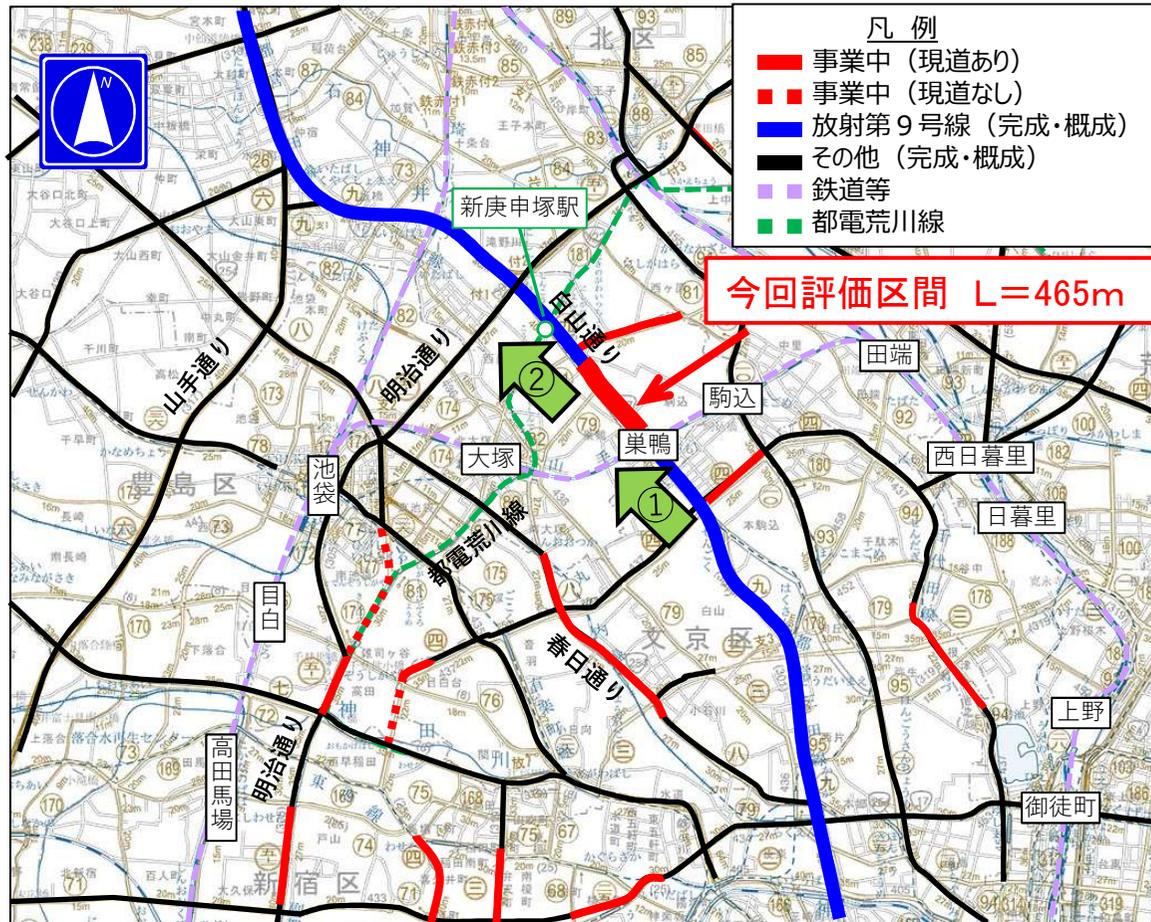
事業費：約85億円

年度	計画等
昭和21年3月26日	都市計画決定
平成11年3月12日	事業認可取得
令和 8年 3月31日	事業認可期間



1. 事業概要(2)

今回評価区間周辺の概要



同一路線の沿道状況



JR巣鴨駅南側



都電荒川線 新庚申塚駅南側

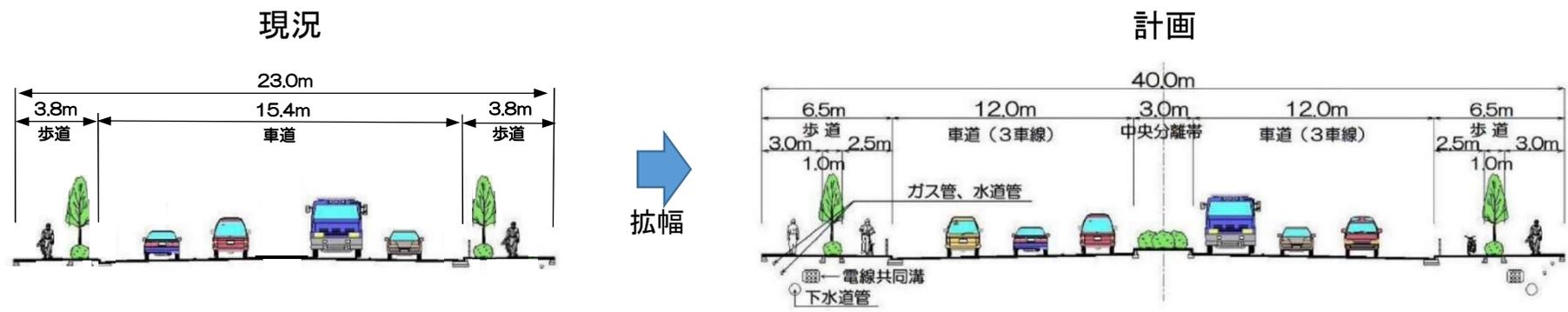
当該区間の整備により、車道が拡幅され、区部放射方向のアクセス性の向上や道路交通の円滑化が図られる。また、電線類の地中化や街路樹の植栽、自転車通行空間の整備により、良好な都市景観が創出されるとともに、地域の防災性、安全性の向上が図られる。

1. 事業概要(3)

平面図



横断図



1. 事業概要(4)

前回
評価時



現況



終点側(豊島市場付近)

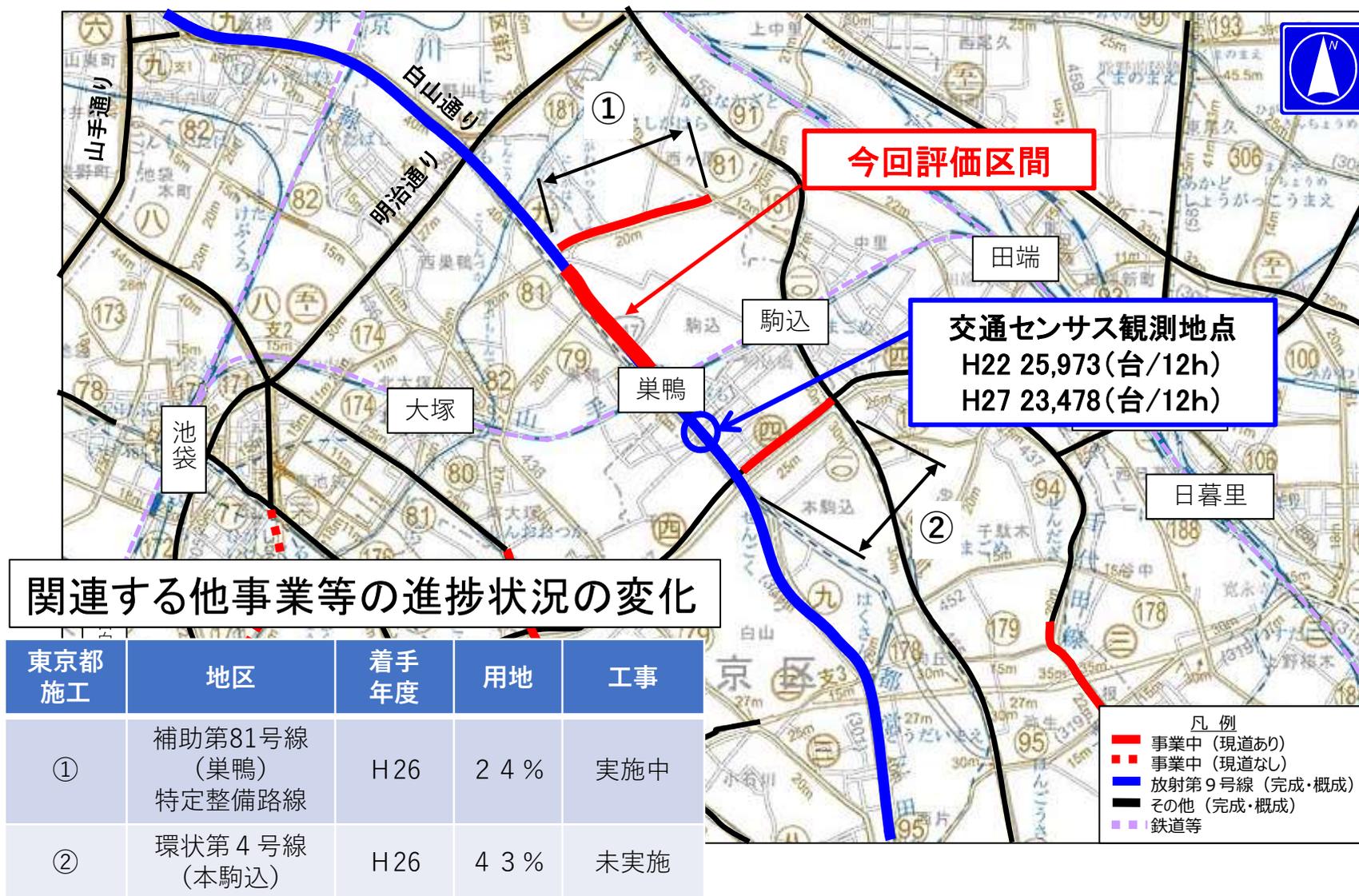
起点側(JR巣鴨駅付近)



2. 社会経済情勢等の変化

社会経済情勢の変化

- 本路線周辺の現況交通量（H27年度）は、H22年度と比較して横ばい



3. 事業の投資効果(1)

定量的効果

【便益(B)の算定】

現在価値化総便益	333.0億円
走行時間短縮便益	315.7億円
走行経費減少便益	17.0億円
交通事故減少便益	0.3億円

【費用(C)の算定】

現在価値化総費用額	148.1億円
工事費	63.4億円
用地費	80.4億円
維持管理費	4.3億円

※費用便益分析マニュアル(国土交通省 平成30年2月)に基づき分析

【費用便益比(B/C)の算定】

$$\underline{B/C = 2.2 \quad (\text{前回 } 2.4)}$$

3. 事業の投資効果(2)

定性的効果

	事項	該当
交通	交通渋滞の解消	○
	物資流動円滑化への寄与	○
	バスの定時性	○
	迂回交通の減少	○
景観	都市景観の向上	◎
防災	緊急車両の走行	○
	延焼遮断	○
	災害時の避難路の確保	○
	消防活動困難地域の解消	

	事項	該当
くらし	土地利用の転換・高度化	
	交通不便地域の解消	
	商業・産業の活性化	◎
	公共施設へのアクセス向上	○
安全	交通事故の減少	○
	バリアフリー化	○
	自転車や歩行者のための空間確保	◎
	その他	

※該当欄の◎は次頁以降に概要あり

3. 事業の投資効果(3)

＜景観＞都市景観の向上

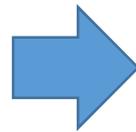
＜安全＞自転車や歩行者のための空間確保

電線共同溝の整備や自転車通行空間の整備を行うことにより、都市景観の向上や自転車や歩行者のための空間が創出される。

歩道部



歩道部 今回評価区間

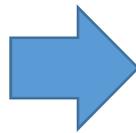


歩道部 完成区間

商店街入口



巢鴨地藏通り商店街入口



巢鴨地藏通り商店街入口(現在)

3. 事業の投資効果(4)

<くらし> 商業・産業の活性化

- 令和3年4月に「豊島区都市づくりビジョン」が改定され、放射第9号線の完成を見据えたまちづくりが検討されている。【目標年次：令和17(2035)年度まで】

(経緯)

- ・平成27年3月 豊島区都市づくりビジョン※を策定
 - ※都市計画法第18条の2に位置づけられた市区町村が定める「都市計画に関する基本的な方針」
- ・令和3年4月 豊島区都市づくりビジョンを改定

都市整備方針図(巣鴨・西巣鴨地域)



拠点	池袋副都心の核	交流拠点	生活拠点
軸	池袋副都心軸	池袋副都心軸	
	みどりの骨格軸	みどりの骨格軸	
	みどりの軸	みどりの軸	
	連続したみどり	連続したみどり	
土地利用方針	商業業務地	池袋副都心商業業務地	
		交流拠点商業業務地	
		生活拠点商業業務地	
	複合用途地	商業業務系複合地	
		幹線沿道型複合地	
		産業系複合地	
住宅地		店舗等併存住宅地	
		一般住宅地	
		低層住宅地	
都電	++++●++++	荒川線	
道路	高速道路	←→	
	主要道路網	—	幹線道路
		—	池袋副都心アプローチ道路
	地区道路網	—	補助幹線道路
	—	地区道路	
みどり	—●—	公園、霊園、児童遊園等	
公共公益施設等	●	公共公益施設	
	▲	災害に関する協定を締結している教育施設	
	●	救援センター	
	■	避難場所	
	□	東京都防災都市づくり推進計画整備地域(重点整備地域、整備地域)	

4. 事業の進捗状況と見込み等(1)

事業費の執行状況

(R2年度末時点カッコ内は前回評価時点)

	用地費	工事費	合計
全体事業費(百万円)	6,875(6,875)	1,679(1,426)	8,554(8,301)
執行済額(百万円)	5,837(5,712)	826(264)	6,663(5,976)
執行率(%)	84.9(83.0)	49.2(18.5)	77.9(71.9)

用地取得状況

取得予定面積 (A)	既取得面積 (B)	用地取得率 (B/A)
4,852㎡	4,329㎡(4,264㎡)	89.2%(86.0%)

事業の進捗

- 未取得用地のうち、1画地65㎡を取得。
- 共同溝換気口の移設工事(3箇所)を実施中。
- 電線共同溝工事(地蔵通り入口付近)、既設歩道橋撤去工事、埋設文化財調査を実施。

4. 事業の進捗状況と見込み等(2)

一定期間を要した背景等

- 権利者多数の区分所有マンションが複数存在することや、寺院の一部施設の移転先選定が難航し、用地折衝に時間を要している。

残事業の取り組み及び進捗の見通し等

- 残る未取得用地の早期更地化を目指し、計画的に折衝を進めていく。
- 現在、共同溝換気口（3箇所）の移設工事を行っている。引き続き、残る共同溝換気口（1箇所）及び地下鉄換気口（2箇所）の移設工事を実施するとともに、電線共同溝設置工事や街路築造工事などを進めていく。

5. コスト縮減等

新工法、事業手法、施設規模等の見直しの可能性

- 一般的な街路築造工事であるため、施工にあたって、新工法、事業手法、施設規模等を見直す可能性は極めて少ない。

コスト縮減の取組

- 施工にあたっては、建設発生土の再利用や再生材の使用を行っていく。
- 無電柱化に当たっては、東京都無電柱化計画（R3.6改定）を踏まえ、新材料等を積極的に活用し、コスト縮減に取り組む。

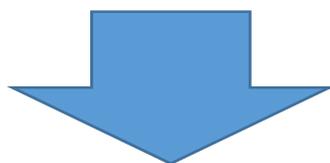
6. 対応方針(原案)

(事業の必要性等に関する視点)

- 当該区間の整備により、車道が拡幅され、区部における放射方向のアクセス性の向上と道路交通の円滑化が図られる。
- 電線類の地中化や街路樹の植栽、自転車通行空間の整備により、良好な都市景観が創出されるとともに、地域の防災性、安全性の向上が図られる。

(事業の進捗の見込みの視点)

- 残る未取得用地の早期更地化を目指し、計画的に折衝を進めていく。
- 引き続き、残る共同溝換気口（1箇所）及び地下鉄換気口（2箇所）の移設工事を進めるとともに、電線共同溝工事や街路築造工事を進めていく。



- 中止の場合は、事業効果を発現できないだけでなく、これまでの投資に見合った整備効果も得られなくなる。

継 続